

平成30年度事業報告書

自：平成30年04月01日

至：平成31年03月31日

社会福祉法人守人会

平成30年度事業報告書目次

[illegible]

平成30年度法人事業報告

平成30年度は、従来型特養(併設短期入所含む)の入所者の個別ケア及び安全配慮の観点でギャッジベッドから3モーター電動ベッド(低床型10台・経管栄養対応ポジショニング型10台・3モーター型50台)へ入替えをし、かつ見守りセンサーの充実を図りました。老朽化に伴う建物修繕及び改修工事については、工事代金が高額となったため、修繕及び改修内容の見直しを図り工事については平成31年度で実施することにいたしました。人材確保につきましては、慢性的な介護職員の深刻な人手不足解消の解決策として、海外介護技能実習生制度を利用することにし、介護技能実習生を受入れられる体制作りを推進しました。

<平成30年度の取組実績>

I 定款で定める社会福祉事業

種別	社会福祉事業等	事業所名
第1種社会福祉事業	特別養護老人ホームの経営	特別養護老人ホーム森林園 特別養護老人ホーム森林園(ユニット型)
第2種社会福祉事業	老人デイサービス事業の経営	森林園デイサービスセンター
	老人短期入所事業の経営	森林園短期入所施設
	老人居宅介護等事業の経営	ヘルパーステーション森林園
	老人介護支援センターの経営	在宅介護支援センター森林園
公益事業	居宅介護支援の事業	居宅介護支援事業所森林園

※定款で定める公益事業の「居宅介護支援の事業」については、事業規模が小さく社会福祉事業と一体的に行われる事業又は社会福祉事業の用に供する施設の機能を活用して行う事業となっているため、居宅介護支援事業森林園については、社会福祉事業として取扱いしている。

II ショートステイ20床のうち8床を特養へ転換整備

平成29年度でショートステイ20床のうち12床を特養へ転換整備したく申請を行ったが、審査結果として不採択となりましたが、平成30年度で8床(4人室×2室)を特養へ転換整備したく申請したところ、平成30年12月26日付指令高福第919-1号にて埼玉県知事よりショートステイ補助財産処分が承認され、老人福祉法や介護保険法等の手続きを経て、平成31年4月1日から許可定員が、従来型特養58名、併設ショートステイ12名へと変更になります。

III IT導入支援補助金活用によるホームページ作製

経済産業省補助金で平成29年度分が余ったので平成30年度繰越補正となったもので、基本的には事業関連ソフトの購入やホームページ作成費等を補助支援するもので、50万円が上限で消費税を除く購入費用の1/2が補助されるもので、当法人は、ホームページが無く透明性の確保の観点から、定款や役員報酬、財務諸表等の公表が義務化されているので作製しなければならなくなり、三次公募(期日11/19迄)に応募し、11/30補助金の交付決定が公表され、平成31年1月29日にホームページを公開した。

・IT導入支援事業者 システムアルファ(株) 群馬県前橋市大友町2-23-5

- ・ホームページ作成費用 税込 952,560 円(うち消費税 70,560 円)
- ・補助金額 441,000 円
- ・URL : <https://www.shinrinen.or.jp/>

Ⅳ 平成30年度大規模修繕及び改修計画

築26年が経過した従来型特養建物(RC建物)について、経年劣化により大規模な修繕工事や設備機器入替工事、かつ現行法令に従った改修工事が必要になり計画を進めてまいりましたが、工事費用が高額となり資金計画に合わなくなったため、計画を見直すことにし、平成30年度大規模修繕工事補助金申請を断念し、金融機関からの借入範囲内で、平成31年度に修繕及び改修工事を実施することにした。

Ⅴ 地域における公益的な取り組み

社会福祉法人は、社会福祉法第24条第2項の規定により3つの要件全てを満たす事業を実施する必要があり、当法人は下記掲げる事業を実施した。

- ①社会福祉事業又は公益事業を行うにあたって提供される福祉サービスであること。
- ②対象者が日常生活又は社会生活上の支援を必要とする者であること。
- ③無料又は低額な料金で提供されること。

(1) 自治会別料理教室及び栄養指導事業

滑川町の自治会別に、高齢者向け料理教室を実施し、低栄養、入れ歯や咀嚼、誤嚥予防に対する指導を実施した。(利用負担1人100円)

(2) 高齢者等相談事業

自治会別に独居や高齢者世帯、生活困難者の把握に努め、区長及び民生児童委員の協力のもと日常生活又は社会生活上支援を必要とする者の情報収集を行い、それぞれのニーズに即した支援活動や行政への橋渡しを行った。(無料)

(1) (2) の実績

日 時	自治会名	場 所	参加人数	内 容
6 月 18 日 (月)	福田	下向・古姓集会所	40 名	低栄養改善料理教室 相談事業
10 月 9 日 (火)	水房	水房集会所	20 名	
10 月 10 日 (水)	羽三	羽三集会所	23 名	
11 月 20 日 (火)	両表	両表集会所	14 名	
11 月 27 日 (火)	六軒	六軒集会所	40 名	

(3) 施設利用料減免制度事業

生活困難者等の支援活動の一環として、施設利用者の一部負担金や食事代、宿泊居住費の減免制度事業を実施した。

減免対象者	利用サービス	支援内容	金額
1 名	地域密着型通所介護事業	食事代金の一部軽減	34,200 円

※H30.9月から食事代を50%減免(H30/9, 10, 12, H31/1, 2, 3月分)。生活保護法認定者。

Ⅵ 海外介護技能実習生受入に対する対応

介護職員の人手不足解決策として、海外介護技能実習生を受入れることにし、政府が選定した12の優良な事業者の一つで長野県小諸市にある「のぞみグループ」が運営する監理団体である『介護施設協同組合』が介護に特化した監理団体で、現地において送出し機関が募集活動する場合も医療系大学等を卒業した医療従事者のみを募集し面接させてくださり、日本語検定N4合格者の入国後も同系列の一般社団法人海外介護士育成協議会にて2ヶ月間全寮制で介護職員初任者研修と日本語教育を実施して頂けるので、平成31年2月4日同協同組合に加入いたしました。

受入れ可能人数は事業所の常勤介護職員数により定められており、当該施設は3人まで受入れが可能なため、3名を確保する予定です。当該施設に入職するまで1年程度掛かりますので、その期間内で施設から歩いて通える範囲で空き家等を借りて受け入れ準備を整えます。

Ⅶ 職員の入職／退職状況

入職者：20名（看護職員3名、理学療法士等2名、介護職員13名、宿直者2名）

退職者：19名（看護職員2名、介護職員13名、介護支援専門員1名、営繕・宿直者3名）

事業所別	ユニット含む特養・短期	通所	訪問	計
入職者	18名	1名	1名	20名
退職者	17名	1名	1名	19名

Ⅷ 職員の平均有給休暇保有日数／消化日数

職員の平均有給休暇保有日数及び消化日数は下記の通りとなります。（3月31日在職者）

区分	有給保有日数（繰越分含）	消化日数	消化率
従業員全員	23.6日	9.5日	40.3%
（再掲）看護職員	17.5日	9.0日	51.4%
（再掲）介護職員	22.7日	8.5日	37.4%

Ⅸ 評議員会開催状況

評議員定数：7名

開催年月日	審議事項等	出席者	立会理事監事
平成30年 6月22日 13時30分～ 14時45分	審議事項 ・平成29年度事業報告について ・平成29年度決算報告について ・平成30年度大規模修繕計画申請について ・ショートステイ床の特養転換整備に伴う財産処分申請について 報告事項 ・平成29年度ショートステイ20床のうち12床を特養転換整備する件について ・定款変更について	7名	理事2名

X 理事会開催状況

理事定数：6名 監事定数：2名

開催年月日	審議事項	出席者	立会監事
平成30年 5月15日 10時00分～ 11時30分	審議事項 ・平成29年度事業報告及び同附属明細書承認の件 ・平成29年度計算書類及び附属明細書並びに財産目録、社会福祉充実残額承認の件 ・従来型特養及び併設短期入所(合計70床)のベッド入替の件 ・施設整備資金借入金(電動ベッド購入)の件 ・短期運営資金借入金(夏季賞与資金)の件 ・平成30年度第1次補正予算の件 ・ショートステイ床の特養転換整備に伴う財産処分申請の件 報告事項 ・定款変更について(理事の免責、土地建物表示及び面積変更) ・大規模修繕計画進捗状況について	6名	1名 (1名書面決議)
平成30年 10月10日 14時00分～ 16時00分	審議事項 ・設計会社休業に伴う業務継続設計会社選定について ・大規模修繕工事補助金申請について ・運転資金借入について ・平成30年度第2次補正予算について 報告事項 ・8/31豪雨落雷に伴う消防設備機器・放送設備機器・ナースコール機器の故障について	6名	2名
平成30年 12月10日 11時00分～ 12時00分	審議事項 ・平成30年度中間決算報告について ・短期運営資金借入(冬季賞与資金)について 報告事項 ・8/27・8/31豪雨落雷に伴う消防設備機器・放送設備機器・ナースコール機器の故障について ・IT導入支援補助金について ・訪問看護事業の県福祉部監査課実地指導結果について ・ショートステイ床を特養へ転換整備する件について(ショート20床→12床・特養50床→58床)	6名	2名

平成31年 3月6日 14時00分～ 16時30分	審議事項 ・平成30年度第3次補正予算について ・平成31年度事業計画について ・平成31年度資金収支予算について ・海外介護技能実習生3名の受入れについて 報告事項 ・ショートステイを特養へ転換整備する件について ・IT導入支援補助金について ・大規模修繕・改修工事について ・利用者家族等からの苦情について ・インフルエンザ発生に対する対応について	5名	2名
------------------------------------	--	----	----

XI 経営会議

理事長、施設長、理事で職員の者、事務長、会計事務所で構成された会議で、法人運営の指針や月次決算、日常の様々な問題について方向性を決定し、実務処理を行いました。

開催日	内容
平成 30 年 4 月 26 日	・大規模修繕計画状況について ・平成 29 年度決算報告について ・理事会開催日程について ・職員募集他 ・月次状況報告について ・監事監査開催日程について ・賞与資金借入について
7 月 27 日	・四半期決算状況について ・老人福祉施設断熱促進事業補助金について ・大規模修繕計画状況について ・職員募集他
8 月 28 日	・月次状況報告について ・老人福祉施設断熱促進事業補助金について ・修繕改修工事用資金借入について ・その他 ・大規模修繕計画状況について ・短期を一部特養転換整備する件
9 月 28 日	・設計会社休業に伴う業務継続設計会社探しについて ・大規模修繕計画状況について ・理事会開催日程について
11 月 27 日	・中間決算について ・修繕改修工事内容状況について ・理事会開催日程について ・外国人技能実習生について ・賞与資金借入について ・短期を一部特養転換整備する件 ・IT 導入支援補助金申請について ・就業規則改定について
平成 31 年 1 月 28 日	・月次状況報告について ・インフルエンザ発生状況について ・修繕改修工事内容状況について ・車輛購入について ・短期を一部特養転換整備する件 ・理事会開催日程について ・介護施設協同組合説明会等について ・非常勤職員賃金について

平成 30 年度 介護部門事業報告

1. 入居者の状況

(1) 定員

- ① 特別養護老人ホーム（多床室） 定員 50 名
- ② 特別養護老人ホーム（ユニット）定員 30 名
- ③ ショートステイ 定員 20 名

(2) 特養入所者の年齢別男女構成分布

（平成 31 年 3 月 31 日現在）

年齢	性別	男性（名）		女性（名）		計（名）
		多床室	ユニット	多床室	ユニット	
64 歳以下						
65 歳～69 歳		1	1	3	1	6
70～74 歳		1	1	1	1	4
75～79 歳		1	1	3	2	7
80～84 歳		1		6	5	12
85～89 歳		5	1	8	3	17
90 歳以上		1		19	13	33
計		10	4	40	25	79

(3) 入所者の年齢構成

年齢	性別	男性（歳）		女性（歳）		計（歳）	
		多床室	ユニット	多床室	ユニット	多床室	ユニット
平均年齢		82.4	76.3	87.6	88.2	86.6	86.7
最高年齢		94	88	102	99	102	99
最低年齢		69	68	69	69	69	68

(4) 入所期間

年齢	性別	多床室		ユニット		計（名）
		男	女	男	女	
6 カ月未満			8	1	4	13
6 カ月～1 年未満			5		4	9
1 年～2 年未満		3	7	3	5	18
2 年～3 年未満		2	1		4	7
3 年～4 年未満		1	9		4	14
4 年～5 年未満		1	5		1	7
5 年～6 年未満		1	3		2	6

6年～7年未満	1			2	3
7年～8年未満		3			3
8年～9年未満					
9年～10年未満	1				1
10年以上				1	1
計	10	41	4	27	82

(5) 入所者の要介護度構成

介護区分 性別		要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	その他	計
多床室	男性		4	4	1	1		10
	女性		3	6	15	16		40
ユニット	男性			2	1	1		4
	女性		4	10	8	4		26
計		1	9	19	27	24		80

(6) 保険者別入所状況

保険者	入所者数	保険者	入所者数
滑川町	39	吉見町	3
東松山市	17	ときがわ町	2
嵐山町	7	東秩父村	2
小川町	1	鶴ヶ島市	1
川越市	1	寄居町	4
杉戸町	1	東京都北区	1

2. 生きがい活動

ご利用者に日々の生活に、メリハリを持っていただき喜びや楽しみを感じていただくと共に、活力を養いよりよい生活が営める事が必要と考え下記について実施しました。

(施設内活動)

項目	内容
体操・口腔ケア体操	午前(10:00)にラジオ体操や歌に合わせて等様々な運動を行う事で生活リズムを整えたり、腕や足を上げたりなどされ全身を使う事で血流が良くなるように体操を行っています。又、昼食前には口腔ケア体操を行い摂食・嚥下動作及び構音機能の改善を図る為に実施しました。
貼り絵・塗り絵 計算・漢字プリント	その季節の下絵を用意し、貼り絵や塗り絵を行いホールへ飾っています。あるサークルグループは毎日に日課として塗り絵を実施しました。細かい部分をきれいに塗り毎日達成感を得られるよう工夫しました。 又、計算問題や漢字等職員と一緒に、頭を悩ましながら行いました。
カラオケ	歌を歌う事は自立神経や血圧の安定を図れると共に、口を動かされる事で顎

	周辺の筋肉の強化や唾液分泌にもつながり誤嚥防止にも役立てました。
--	----------------------------------

(施設外活動)

項目	内容
散歩・ドライブ	施設周辺に神社やお寺があり、花々を見学に散歩を行いました。天気のいい日にはドライブで近隣を巡り、外の雰囲気を感じていただきました。ドライブはご利用者の気分転換や季節を感じてもらう上で重要な活動となっています。ドライブへ行かれた方は、景色についてとても楽しそうに話されていました。

3. 行事

季節に合わせた行事を行うことで四季の移り変りを感じ、また楽しく過ごしていただけるよう心がけました。

4月	桜の花見	高坂桜並木・吉見百穴・東松山市ノ川沿い等に見学に行きました。春の季節感を満喫された様子でした。ピンク色に染まった景色を眺めながら春の訪れを感じています。
5月	ドライブ	花や緑の生い茂る木々に囲まれ新緑の春を感じられました。車の窓を少し開けるとすがすがしい風がとても気持ちよくとても気持ちがよさそうにされていました。
	こでまりの会	大正琴にて演歌や童謡等なじみ深い曲を演奏して頂き、口づさむ方や手拍子される方など皆様明るい表情でした。
6月	ドライブ	ときがわ菖蒲園にお花見へ行かれています。ときがわ周辺の山々を見てこれから来る夏の訪れを感じて頂きました。
	アニマルセラピー	各ユニットのリビングを利用し、訓練を受けたワンちゃんがリビングをまわっています。普段接する事が出来ない為、頭をやさしく撫でられとても喜ばれていました。
7月	七夕飾り	七夕飾りを職員と一緒に作り、様々な思いを込めた短冊を飾りました。
	納涼祭	利用者様が食べやすいよう工夫をした食材を屋台で出店し大変好評でした。又誠太鼓・盆踊り等夏祭りに相応しい活気ある催しができ、大変ご好評をいただきました。たくさんのボランティア様も参加され地域の方々と家族様と皆で暑さも吹き飛ば一大イベントとなりました。
8月	花火大会	手持ち花火をメインとしてたくさんの花火をお楽しみいただきました。花火の儚さに「綺麗だね」とのお声を頂いています。
9月	敬老会	祝者の方へ花束・プレゼントの贈呈を行っています。きれいな花束に終始笑顔でした。又、リコプアケア様を迎えフラダンスの披露をして頂きました。皆で歌を歌ったり、手拍子をしたりとても楽しんでいらっしゃいました。

10月	宮前小学校慰問会	小学4年生の児童達と昔ながらの遊びや歌などグループになり一緒に楽しみました。児童達の手を取り、昔の遊びを教えながら楽しんでいらっしかったです。
11月	滑川祭り	今年も出店し、地域の皆様と楽しいひと時を過ごしました。もつ煮・大学芋は好評で閉会式を待たずに完売されています。
12月	クリスマス会	催し物として、ハンドベル【おたまじゃくしの会様】に披露していただき、美しい音声に聞き入っていました。又、職員でサンタクロースやトナカイに着替え皆で楽しい雰囲気作りが出来ました。サンタクロースがプレゼントの袋をもって登場すると拍手喝采でした。
	餅つき	ホールにて餅つき大会を実施しています。石臼に木根が振り下ろされる度に利用者様から「よいしょ」と掛け声を頂きました。
1月	初詣	羽尾神社に参拝を行い、「急な坂を登りきった後の参拝だからご利益があるだろう」と大変に喜ばれました。
	新年会	インフルエンザ感染蔓延防止の為、新年会は中止しましたが、行事食は実施しました。
2月	節分	同上の感染防止の為、節分中止。行事食は実施しました。
3月	梅見ドライブ	越生梅林や近隣に梅を見学に行っています。しだれ梅がとてもきれいで声をあげて喜んでいらっしかったです。

その他、その月の誕生者には写真を撮影後祝福し、隔月で職員とボランティアが催し物を企画し実施しました。また、時期のイベントに合わせた行事食を提供しました。手作りカードを作りお渡しました。行事は、基本的に午後行っているため昼食からの雰囲気作りを行い、誕生者でない方にとっても楽しみの一つとなっています。

4. ボランティア受入れ実績

今年度も多くのボランティアの皆様にお越しいただき、様々な活動を行っていただきました。入所者が毎年楽しみにされている和太鼓や芸披露もあり、単調な毎日の生活の中で刺激となり生活の励みとなりました。また、個人ボランティアの方には毎月定期的にお越しいただき、活動を楽しみながらハビリにも役立っています。今年度は職員の出し物にも力を入れ大変ご好評を頂きました。

(1) ボランティア活動団体

アミューズクラブ・誠太鼓・リコプケア・根岸葬祭・日赤婦人奉仕団・こでまりの会、動物指導センター・個人ボランティア・おたまじゃくしの会・劇団花見月

(2) 活動内容

- ・滑川町社会福祉協議会…夏休み体験ボランティア
- ・滑川町日赤婦人奉仕団…納涼祭参加
- ・根岸葬祭…納涼祭参加

- ・ 誠太鼓…太鼓演奏
- ・ こでまり…大正琴
- ・ リコプアケア…フラダンス
- ・ 動物指導センター…アニマルセラピー
- ・ おたまじゃくしの会…ハンドベル
- ・ 花見月…劇

5. 介護体験実習・施設見学受け入れ実績

町内の小・中学校から介護体験実習生を受け入れ、高齢者と接する機会を提供いたしました。また、実習に来ていただく中で様々な病気や障害を抱えている方と接していただき、福祉の心を育てていけるよう配慮しました。地域の方と密に接していく事で交流関係を深められるように行っております。

期間	依頼元
平成 30 年 8 月 7 日	業務体験（嵐山町在住の小学生）
平成 30 年 9 月 12 日	滑川町宮前小学校 4 年生施設見学
平成 30 年 10 月 25 日	滑川町立宮前小学校 4 年生慰問会
平成 31 年 2 月 13 日～15 日	滑川中学生社会体験チャレンジ受け入れ

6. 会議関係

会議名	内容	実施回数	構成員
リーダー会議	行事等予定の調整、施設運営に係る話し合い	毎月 1 回実施 (年 1 2 回)	施設長、事務長、介護主任、看護主任、介護支援専門員、栄養士、デイ主任、居宅主任、ヘルプ責任者・相談員
ケース会議	ケアプラン作成において半年毎のプラン見直しや介護度変更に伴っての話し合い	検討が必要な場合について 随時開催	介護職員、看護職員、栄養士、介護支援専門員、理学療法士・言語聴覚士・相談員
優先入所検討委員会	特養新規入所者及び入所申込者について 順位決定の話し合い	毎月 1 回実施 (年 1 2 回)	施設長、第 3 者委員、看護主任、介護支援専門員、相談員・介護主任
各委員会	委員会の内容に応じた話し合い。	それぞれ毎月 1 回実施 (年 1 2 回)	施設長、事務長、介護職員、看護師、介護支援専門員、栄養士、理学療法士、言語聴覚士、相談員
多床室職員会議 ユニット職員会議 デイ職員会議	職員間での業務についての話し合い。	毎月 1 回実施 (年 1 2 回)	施設長、介護支援専門員、介護職員、相談員

・ケース会議

ご入所者1名に対し、年に最低2回実施しました。内容については問題行動の改善、生活に係る問題点や処遇の具体的な見直しなどです。また、新しく入所された方に対し、状況検討や問題提起など介護支援専門員が中心となり相談員・栄養士・ケース担当者・看護師などで話し合い、より良い生活環境を作っていけるよう検討を行いました。退院時の著しい状態変化にも合わせ話し合いを行いました。

・各委員会

衛生委員会

施設内の環境整備に関する事案を検討し、産業医へ委員会報告を行い、指示を仰ぎました。

吸引・褥瘡委員会

ご利用者への吸引の実施状況報告と褥瘡ハイリスク者の報告と褥瘡処置実施者の経過報告を実施しました。

事故対策・身体拘束廃止・不適切ケア防止委員会

ヒヤリハットと事故の報告と対策についての検討。身体拘束実施者と廃止についての検討。不適切ケア防止の検討。

給食会議

厨房委託業者参加のもと、提供された食事についての検討とイベントについて話し合いました。

7. 施設内研修

月	内容	詳細
4月	認知症・処遇について	認知症の種別やそのケア方法について学びました
6月	感染症全般	ウイルスや菌がどのような形で感染をしていくのか、又予防・対応方法について学びました。
8月	身体拘束・虐待	身体拘束禁止規程や高齢者虐待に至ってしまう経緯、通報の義務と対応について学びました。
10月	インフルエンザ・ノロウイルス	流行期を迎える前にインフルエンザ・ノロウイルスの知識と対策を学びました。
1月	事故研修（誤薬・転倒等）	感染症の為に中止となっており資料を回覧しました。
3月	褥瘡について	褥瘡の原因と対応、栄養面について学びました
随時	事故予知	介護会議の中でリスク者について検討しました。
	入浴事故研修	入浴事故リスク・防止について学びました。

8. 避難訓練の実施

比企消防本部立合いのもと、火災のみならず災害に対する避難訓練を日中及び夜間想定で、下記のとおり実施した。尚避難訓練終了後消火器訓練を実施した。

・平成30年5月11日(金) 14:00～15:00 夜間災害想定

・平成30年10月12日(金) 14:00～15:00 日中災害想定

9. ショートステイ

特養への入所を待機されるロングショートステイご利用者が増加し、4月～1月にかけて延べ利用者数が増加しました。一般的なショートステイでの利用が少なく平日の空床が目立ちました。

短期入所 利用実績	サービス実施状況				平成30年度 一日平均入所者数
	実人数（名）		延人数（名）		
	平成29年	平成30年	平成29年	平成30年	全体（名）
4月	25	31	313	375	12.5
5月	25	34	344	418	13.5
6月	30	36	377	438	14.6
7月	35	35	403	551	17.8
8月	31	36	422	548	17.7
9月	29	29	363	476	15.9
10月	32	31	364	485	15.7
11月	30	35	368	488	16.3
12月	30	38	397	541	17.5
1月	35	33	431	480	15.5
2月	33	30	395	395	14.1
3月	32	30	398	391	12.7
計	367	398	4,575	5,586	15.3名

平成30年度衛生委員会事業報告書

当該施設は、樹木や池、沼に隣接して建設された平屋建て建物であるため、野外からの害虫対策として下記の取組を実施しました。

1. 従来型特養・併設短期入所

5月26日・6月9日に各居室のバルサン焚きを実施し、施設内周辺の見回り及びクモの巣取りを行ないました。5月～9月にかけて月1度虫コロアースを撒き、害虫発生予防に努めるも、ムカデの発生報告が11件ありました。11月より足消毒用マットを設置し、各居室に加湿器を使用し湿度一定に保つように努めました。インフルエンザが発生した際は、ジアッシュ（次亜塩素酸ナトリウム）を24時間使用して、除菌及び加湿を徹底し、施設内感染の防止に努めました。

10月には職員に対してインフルエンザとノロウイルスに関しての対応・対策の研修や嘔吐時の処理方法の実演を行なうと共に、感染症対応マニュアルの周知を行いました。

12月には洗濯場や入浴場、各居室の大掃除を実施しました。

2. ユニット型特養

平成31年1月20日にインフルエンザ患者が2名発生し、1名は重傷感染にて入院となった。

1月21日に東松山保健所へ報告するとともに、感染拡大防止策の対応として、ユニット型特養利

用者、看護及び介護職員へタミフル剤の予防投与を開始するとともにジアッシュ（次亜塩素酸ナトリウム）による加湿噴霧を 24 時間実施し、除菌及び加湿を保持し、施設内感染の防止に努めました。施設内感染として、計 13 名が罹患した。

年間報告

- 5 月 加湿器回収・清掃 バルサン炊き（1 回目）
- 6 月 バルサン炊き（2 回目） アースノーマット設置 感染症（全般）研修（NS）
- 10 月 居室設置消毒液の交換（偶数部屋） ユニット居室設置消毒液の交換
インフルエンザ・ノロウイルス研修（衛生委員）
- 11 月 加湿器設置、使用開始 居室設置消毒液の交換（奇数部屋）
- 12 月 大掃除
- 2 月 居室設置消毒液の交換（偶数部屋） ユニット居室設置消毒液の交換
- 3 月 居室設置消毒液の交換（奇数部屋）

害虫発生状況と対策

※11～3 月は害虫の発生ないため省略しました。

※害虫等の発生は、従来型特養のみで、ユニット型特養での発生はありませんでした。

月	発生件数	対策
4 月	5 件（ムカデ）	施設周辺の見回り及び駆除
	1 件（蛇）	駆除
5 月	2 件（ムカデ）	バルサン 1 回目（5/26）虫コロアース散布（5/14）
	（蜂の巣）	蜂を駆除し、巣を撤去
6 月	0 件	バルサン 2 回目（6/9）アースノーマット設置
7 月	1 件（ムカデ）	虫コロアース、施設周辺の見回り及び駆除
8 月	1 件（ムカデ）	駆除
9 月	2 件（ムカデ）	駆除
10 月	0 件	

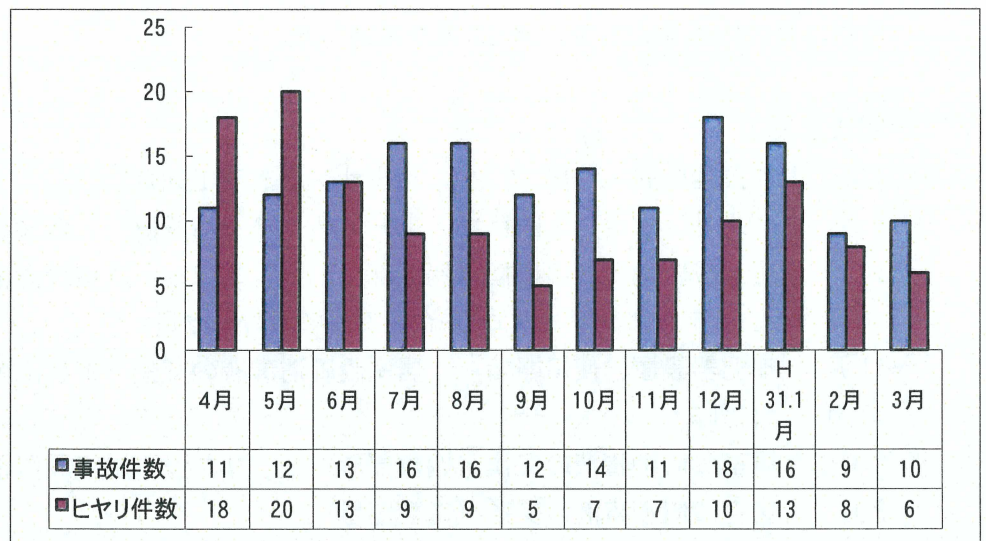
インフルエンザ発生数

年月日	従来型特養		ユニット型特養		備考
	利用者	職員	利用者	職員	
H31. 1. 21			2		ユニット棟予防投与開始
H31. 1. 22			4		
H31. 1. 23		1	1	1	
H31. 1. 24			1	1	従来型特養予防投与開始
H31. 1. 27				1	
H31. 1. 29				1	
合計	0 名	1 名	8 名	4 名	

平成30年4月～31年3月多床室特養事故報告

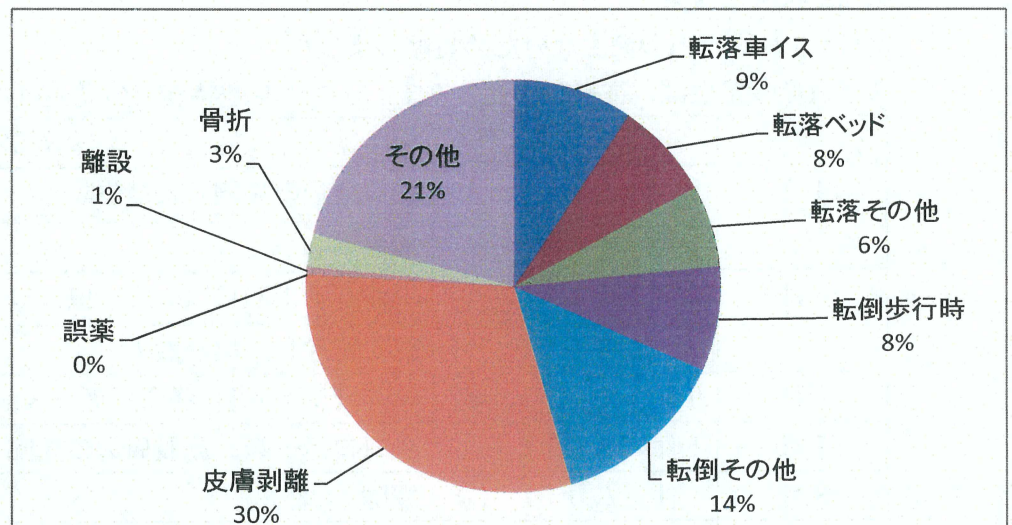
(1) 月別事故発生件数

月	事故件数	ヒヤリ件数
4月	11	18
5月	12	20
6月	13	13
7月	16	9
8月	16	9
9月	12	5
10月	14	7
11月	11	7
12月	18	10
H31. 1月	16	13
2月	9	8
3月	10	6
合計	158	125



(2) 事故内容 (多床室)

種類	件数
転落車イス	15
転落ベッド	12
転落その他	10
転倒歩行時	13
転倒その他	22
皮膚剥離	48
誤薬	0
離設	1
骨折	4
その他	33
合計	158

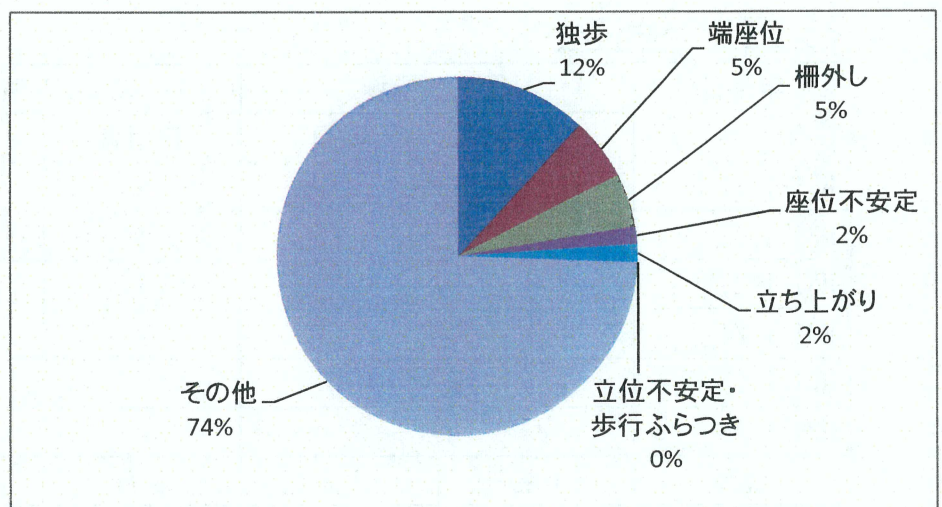


※その他内容

爪剥離・裂傷・他利用者様とのトラブルなど

(3) ヒヤリ内容 (多床室)

種類	件数
独歩	15
端座位	7
柵外し	6
座位不安定	2
立ち上がり	2
立位不安 定・歩行ふ らつき	0
その他	93
合計	125

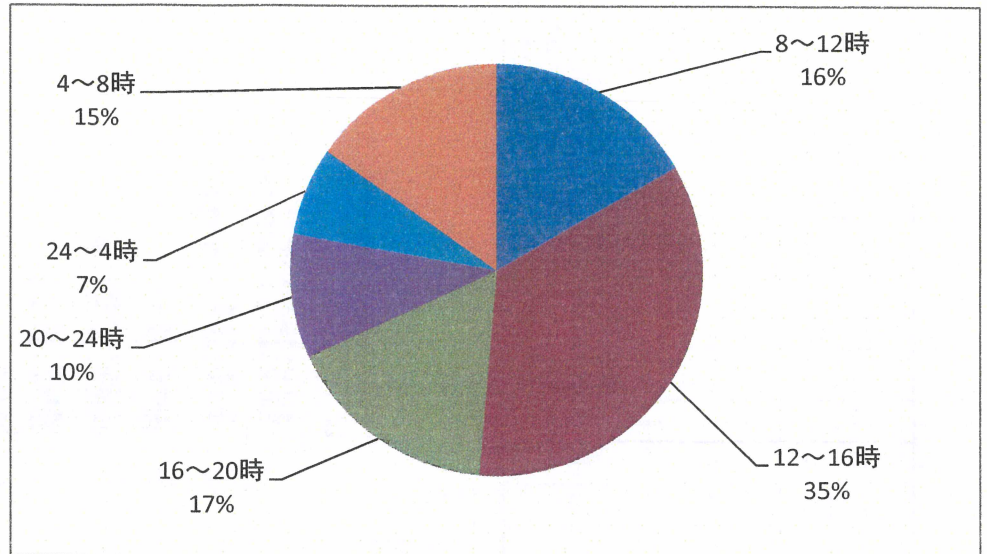


※その他内容

食べ物の持ち込み・盗食・他利用者様とのトラブルなど

事故発生時間帯（転倒、転落）

時間帯	件数
8～12時	12
12～16時	25
16～20時	12
20～24時	7
24～4時	5
4～8時	11

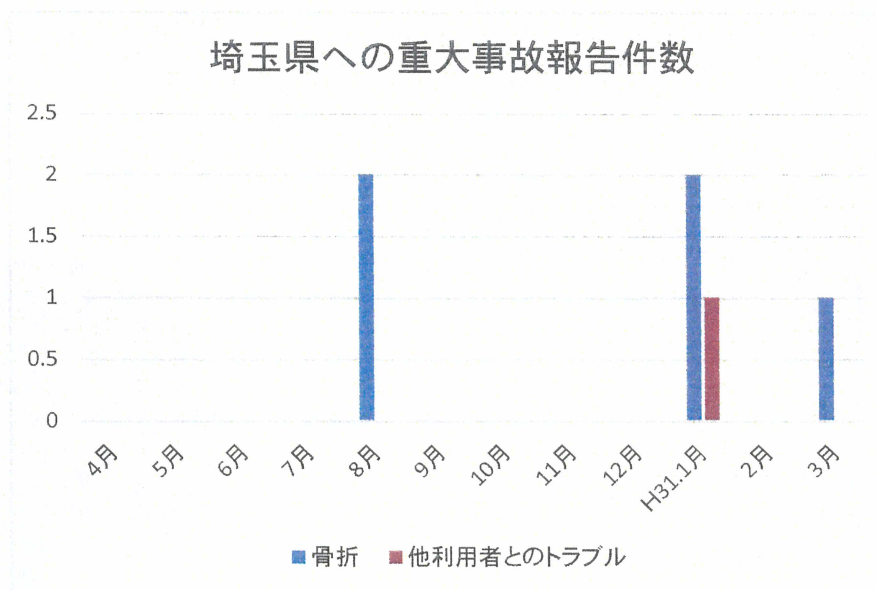


○あざや表皮剥離の発見報告が多かったです。時間に追われながら業務に務めていたのも原因の一部と思われます。また、同じ利用者の事故報告が多かったことから、ヒヤリハットや事故報告に対しての対応を徹底して行うことは出来ていなかったと言えます。対応がしっかりとできていれば、あざや剥離の事故は減少した可能性も高いため、反省点として残ります。

ヒヤリハットに関しては、他利用者とのトラブルや食べ物の持ち込みによるむせ込みが多かったです。利用者同士のトラブルやむせ込みなどは、大きな怪我や窒息に繋がる可能性があります。利用者同士のトラブルでは、他利用者の対応等で職員の目が届かず、気付く事が遅れる事もありました。来年度の目標としては、同じ利用者の事故を減らすことがあげられます。現場の職員だけではやれることが限られてきますが、他部署とも協力しつつやっていきたいです。そのためにも各利用者の情報の共有に力を入れていきたいと思います。

埼玉県への重大事故報告件数

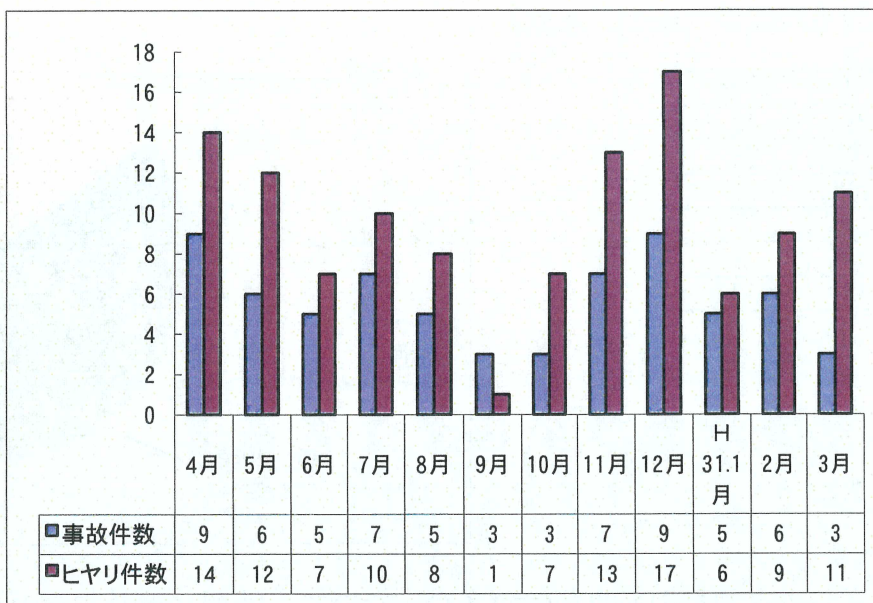
月	骨折	他利用者とのトラブル
4月		
5月		
6月		
7月		
8月	2	
9月		
10月		
11月		
12月		
H31.1月	2	1
2月		
3月	1	
合計	5	1



平成30年4月～31年3月事故報告 (ユニット型特養)

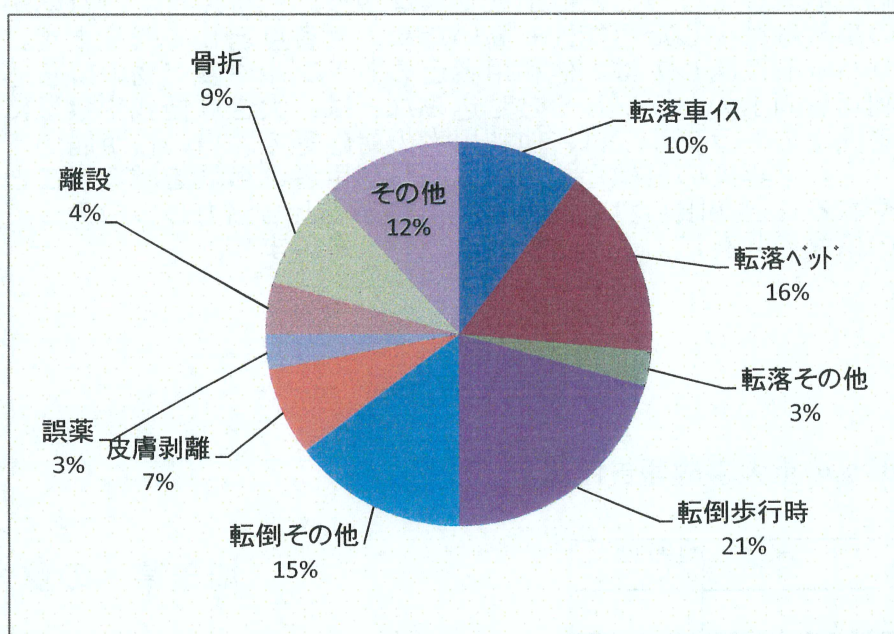
(1) 月別事故発生件数

月	事故件数	ヒヤリ件数
4月	9	14
5月	6	12
6月	5	7
7月	7	10
8月	5	8
9月	3	1
10月	3	7
11月	7	13
12月	9	17
H31.1月	5	6
2月	6	9
3月	3	11
合計	68	115



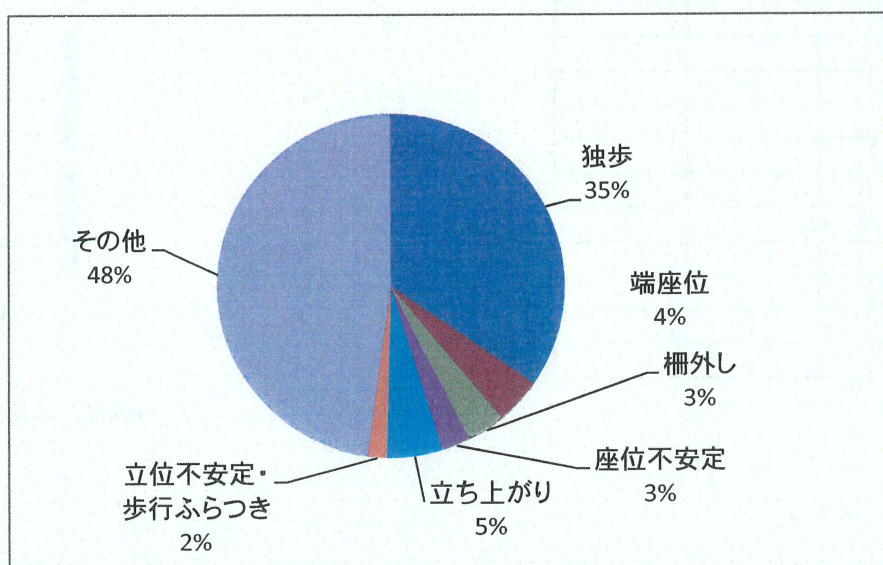
(2) 事故内容 (ユニット)

種類	件数
転落車イス	7
転落ベッド	11
転落その他	2
転倒歩行時	14
転倒その他	10
皮膚剥離	5
誤薬	2
離設	3
骨折	6
その他	8
合計	68



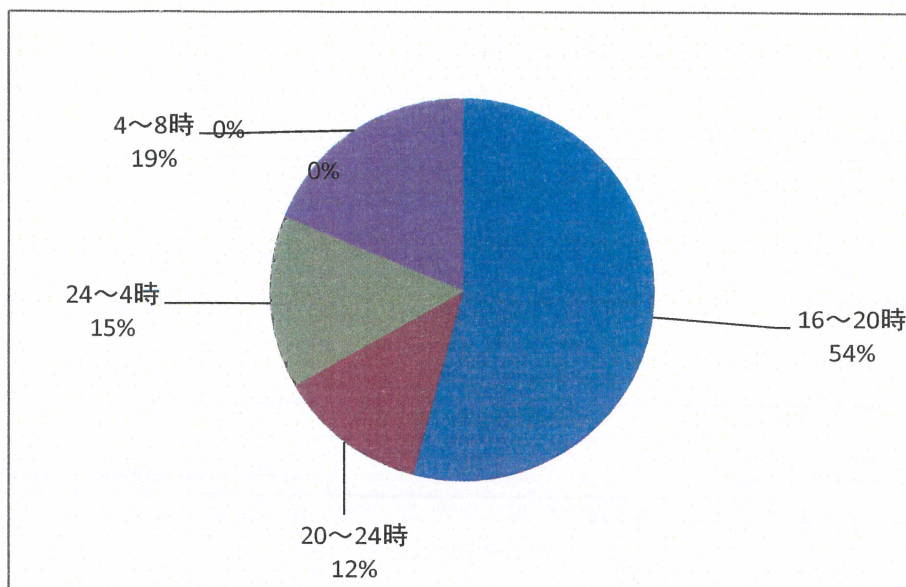
(3) ヒヤリ内容 (ユニット)

種類	件数
独歩	40
端座位	5
柵外し	4
座位不安定	3
立ち上がり	6
立位不安定・歩行ふらつき	2
その他	55
合計	115



事故発生時間帯（転倒、転落）

時間帯	件数
8～12時	13
12～16時	18
16～20時	26
20～24時	6
24～4時	7
4～8時	9



平成30年度ユニット型特養事故等まとめ

昨年と比較して事故件数は68件で5件増でした。事故内容は転倒と転落が約7割を占めて昨年とほぼ一緒でした。骨折の重大事故は6件発生してしまいました。原因として職員の見守りとトイレ誘導時の不徹底でした。ご利用者目線で気配りを行い同じ失敗を繰り返さない様にしていきます。

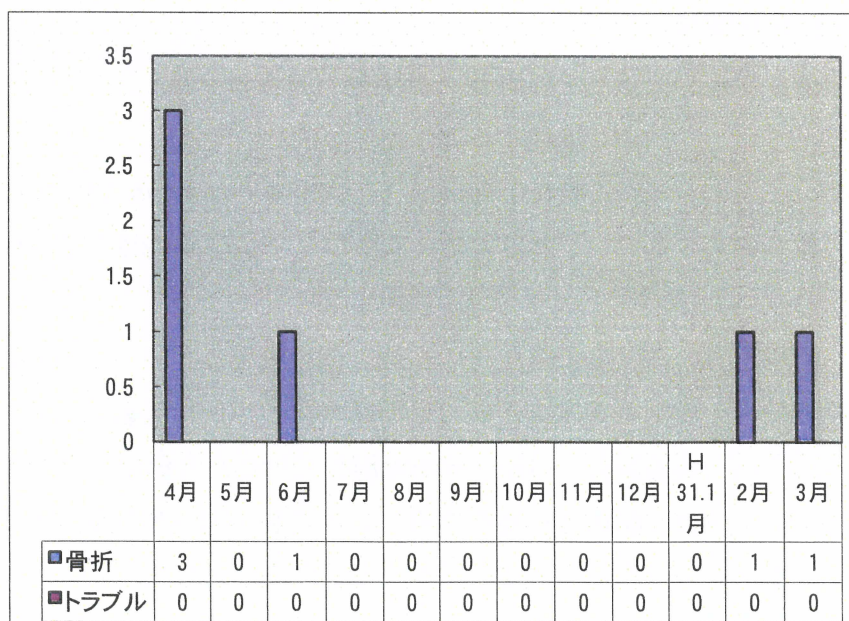
ヒヤリ件数は115件で昨年より減少しているが、昨年同様独歩が多くなっています。原因として職員の不在があり、他職員に声掛けしていなかった事がありました。

ご利用者の行動をこまめに把握して次の行動予測が出来る様に職員が連携する様にします。特に、もくれんのご利用者の独歩が頻回なので重大事故に繋がらない対策を講じます。

日中はシルバーカーのご利用者が廊下に出て散歩されるので職員がこまめな声掛けを行い、所在確認していきます。夜間は6カ所のセンサー対応をしており、職員同士がこまめに連携して事故防止に努めました。

埼玉県重大事故報告件数

月	骨折	トラブル
4月	3	
5月		
6月	1	
7月		
8月		
9月		
10月		
11月		
12月		
H31.1月		
2月	1	
3月	1	
合計	6	0



平成 30 年度医務課事業報告書

医務の基本業務

- ・ 毎朝、声掛けし一人一人の健康状態のチェック
- ・ 介護職より、排泄、食事、睡眠、ADL、精神状態の申し送りを受け対応する
- ・ 必要に応じ医師へ報告、指示を仰ぐ
- ・ 医師の診察の補助
- ・ 検査媒体の準備
- ・ 採血の実施
- ・ 内服薬服用介助と確認
- ・ 緊急時の体制の整備
- ・ ショート利用者の管理
- ・ 訪問診療の介助
- ・ 口腔ケアの実施
- ・ 体調不良者の受診介助
- ・ 医師の指示に基づく指示や処置
- ・ 処方薬受けと配分
- ・ 入浴時のバイタルチェックにより入浴の可否判断
- ・ 入浴時の状態観察と必要に応じた処置
- ・ 環境整備と感染予防・対策
- ・ 利用者及び職員の健康診断の実施
- ・ 特養利用者の急変時の搬送と家族への対応
- ・ リハビリの介助と実施
- ・ 夜間緊急コール当番体制の実施

提携病院	東松山医師会病院 麻見江ホスピタル
嘱託医師	内科医：1 名 週 1 回来園
歯科訪問診療	歯科医：1 名 衛生士：2 名 週 1 回、口腔管理及び指導
リハビリ	理学療法士：1 名 言語療法士：1 名
看護師	常勤：7 名 非常勤：2 名

予防接種関係

○インフルエンザ：ご利用者 1 回実施（特養は全員実施。ショートは希望を募り、未実施の人には接種するよう働きかけた）

職員 1 回実施（アレルギーなどの問題がない限り全職員実施）

○肺炎球菌ワクチン：高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種を希望により、接種実施しております。

ご利用者の高齢化、重度化の進行に伴い嚥下能力の低下や感染に対する抵抗力の低下がみられ、看護職員の役割も重要で疾病の早期発見を重点的に努めました。また、言語療法士による嚥下訓練や口腔内の状態観察、口腔ケアを実施していただき健康管理を徹底しました。

また、四肢及び躯体の拘縮や変形によるご利用者へ体位変換やポジショニングを理学療法士に依頼し、指示を受け実施し安楽に過ごせるよう努めました。

平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月

	点眼	傷処置	軟膏	湿布	インシュリン	坐薬	経管
計	1,760	330	58	24	38	2	16
1 ヶ月平均	147	27.5	4.83	2	3.17	0.17	1.33
1 日平均	4.81	0.9	0.16	0.07	0.1	0.01	0.04

年間業務内容

	Dr. 診察	与薬	褥瘡	処置	検温	血圧測定
男	239	5,036	0	65	2,940	1,784
女	1,120	22,075	536	3,928	16,379	10,239
計	1,359	27,111	536	3,993	19,319	12,023
1 ヶ月平均	113.25	2,259.25	44.67	332.75	1,609.92	1,001.92
1 日平均	3.71	74.07	1.47	10.91	52.78	32.85

	経管栄養	留置カテーテル	血糖 尿検査	DIV	インシュリン 自己注射	通院
男	0	730	57	7	424	53
女	3,248	376	133	141	341	236
計	3,248	1,106	190	148	765	289
1 ヶ月平均	270.67	92.17	15.83	12.33	63.75	24.08
1 日平均	8.87	3.02	0.52	0.40	2.09	0.79

	訪問歯科	リハビリ	吸引	入院	退院	死亡
男	101	60	6	131	5	5
女	647	476	990	1,458	44	44
計	748	536	996	1,589	49	49
1 ヶ月平均	62.33	44.67	83.00	132.42	4.08	4.08
1 日平均	2.04	1.46	2.72	4.34	0.13	0.13

短期入所生活介護利用者への対応

入所時：ご家族より健康状態の連絡を受け、必要に応じた処方薬を持参して頂きご家族と同様の対応を心がけました。

退所時：バイタルチェックや利用時の状況等の連絡事項を連絡用紙に記入し、ご家族に渡すことでご家族との連携、共有に努めました。

体調不良時の対応：状態チェックと情報収集によりご家族への連絡、意向を考慮し対応しました。

緊急時の対応：入所時に説明確認を行い、かかりつけ医等の医療機関へ速やかに搬送しました。

平成 30 年度 栄養事業報告

1. 事業運営の概況

定期的にご利用者様の食事状況を見に行き、食事形態の確認や摂取量の確認を行いました。また、嗜好調査を行い食事提供の改善・向上に努めました。

衛生管理の徹底に努め、害虫駆除やグリストラップ清掃を外部業者に依頼するとともに腸内細菌検査を実施し感染症対策を行いました。

食器の変色が多く目に付くようになったので、新しいものに交換し、在庫分の補充を行いました。

2. 食事状況

季節に応じた行事食を起案し、食事を通してご利用者様には四季を感じていただきました。また、レクリエーションとしてソフトクリームや焼き芋の提供回数を増やし、食べることの楽しみを持っていただけるよう努めました。

低体重や食事摂取量の少ないご利用者様には食事形態の見直しを行うとともに、家族様へ嗜好品(漬物・ふりかけ)の持参に関しての連絡をし、栄養状態の改善に向けて他職種職員と連携しました。

(1) 行事食の実績

4月	デイおやつレク(クレープ)
5月	八十八夜 こどもの日
6月	おやつレク(ソフトクリーム)
7月	七夕 納涼祭 土用の丑
8月	おやつレク(ソフトクリーム)
9月	敬老会
10月	そば打ち ハロウィン
11月	滑川まつり おやつレク(焼き芋)
12月	クリスマス会 もちつき おやつレク(焼き芋)
1月	おせち おやつレク(焼き芋)
2月	節分 バレンタイン
3月	ひなまつり おやつレク(焼き芋) 昼食レク(寿司バイキング)

(2) 選択食の実績

4月 シーフードピラフ



ドライカレー



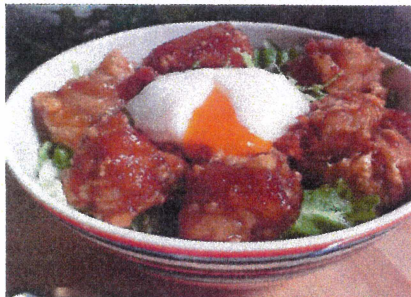
5月 クリームソーススパゲッティ



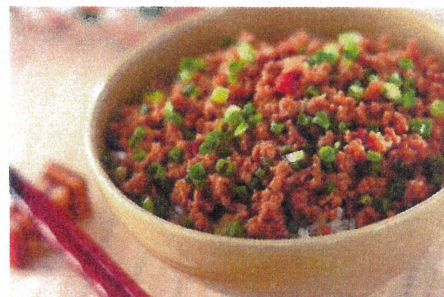
ミートソーススパゲッティ



6月 ピリ辛鶏唐揚げ丼



味噌そぼろ丼



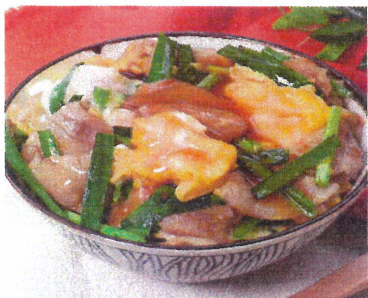
8月 オムそば



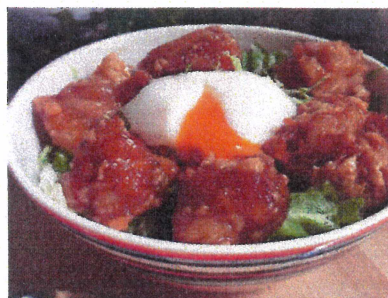
あんかけ焼きそば



10月 ニラ玉豚丼



唐揚げ温玉丼



11月 かつの卵とじ丼



ネギトロ丼



2月 ネギとろ丼



豚肉卵とじ火丼



3月 焼き鳥丼



二色たたき丼



平成 30 年度地域密着型通所介護事業報告

基本事項

地域密着型（滑川町住居者のみ利用可能）

1 日定員：18 名

事業内容：通所介護事業、介護予防通所介護、総合事業

送迎範囲：滑川町全域

営業日：日曜日、1 月 1 日～1 月 3 日

サービス提供時間：10 時から 16 時

1. 年間行事実施状況

月	項目	内容
4 月	芝桜の花見ドライブ おやつレク（飲 茶）	芝桜の花見に鳩山へドライブに出掛けました。山の斜面にいっ ぱいの芝桜を見て皆様楽しまれています。おやつレクの飲茶 では綺麗な色のお饅頭を目と味で楽しめました。
5 月	大正琴	多床室での催し物、慰問による大正琴の演奏会を鑑賞しまし た。大正琴を以前にされていた方は厳しい目で鑑賞し、そうで ない方は昔懐かしい曲が流れると一緒に歌われたりとそれぞれ に刺激を受け楽しまれています。
6 月	紫陽花見（金泉 寺） おやつレク （クレープ）	TV でも取り上げられた嵐山町の金泉寺にアジサイの花見に行き ました。皆様、アジサイを楽しまれた後はアジサイをバックに 集合写真を撮影し、写真をプレゼントするとお友達との写真を 喜ばれています。クレープレクでは出来立てのクレープを楽 しまれ中にはクレープ作りにチャレンジされる方もいました。
7 月	納涼祭 ラベンダー花見 ドライブ	多床室、ユニットと合同で納涼祭を行いました。職員もハッ ピ、浴衣姿でお出迎え一緒に盆踊りを行うなど夏祭りの雰囲気 を演出。皆様の一番の楽しみは毎年出店される出店の焼き鳥で した。 ラベンダー花見ドライブでは嵐山町に行き田んぼいっぱいのラ ベンダー畑を楽しみました。
8 月	外食 おやつレク （アイス）	お昼に外食を企画し希望者を対象に実施しました。以前は大人 数で事前に予約を行い実施していましたが、ご利用者様からの 要望も多様な為、少人数での対応に変更し希望のお店での外食 を実施しています。皆様お友達同士で相談し行先を決めている 時から楽しまれています。外食自体も少人数な為動きも取 りやすく予定にはない買い物等をされたグループもありまし た。
9 月	敬老会 おやつレク	祝者への方へのお祝いを行っています。祝者へは花束と額に入 れたちゃんちゃんこ姿の写真。皆様には湯飲み、手ぬぐいをプ

	(アイス・焼き芋)	レゼントしとても喜ばれました。又、ボランティアによるフラダンスを鑑賞し、おやつレクでは焼き芋、アイスレクでは4種類から好きなアイスを選び楽しみました。
10月	コスモス花見 そば打ち	吉見町にある田んぼいっぱいのコスモス畑へ行きました。田んぼと田んぼの間には、マスコットキャラクターが並びテーマパークの様な雰囲気でした。又、帰り道では吉見の道の駅でトイレ休憩を行い中には買い物を楽しまれた方もおりました。そば打ちでは皆様の前で職人がそばをうちお昼に打ち立てのそばを食しました。
11月	滑川祭り おやつレク (焼き芋)	滑川文化祭に行きました。作品の中にはご自分の息子さんの作品や、近所の方の作品も多くあり、お話を楽しみながら鑑賞されておりました。滑川祭りでは参加が午後になってしまい出店が閉じている場所も多くあまり買い物は出来ませんでした、近所の方とふれあいお祭りの雰囲気を楽しみました。
12月	クリスマス会 餅つき	クリスマス会を行いました。ボランティアにハンドベル迎え皆様、美しい音色に聞き入っておりました。歳神様を迎える準備の為、お餅つきを行いました。皆さん昔を思い出し参加され、参加されない方も元気に声を出されておりました。
1月	初詣 新年会 おやつレク (焼き芋)	初詣に箭弓神社へ行きました。皆さん旧年の感謝、新年の願掛けを行っております。おみくじを見せ合ったり、甘酒を楽しまれたりと思い思いに新年をお友達と楽しまれております。1月行事、新年会は多床室棟にてユニットと合同で行っていましたがインフルエンザが他部署報告有、感染予防の為行事を中止しました。
2月	節分 梅の花見ドライブ (越生梅林) おでんレク	節分では鬼に扮した職員めがけてお手玉を投げ、鬼退治とストレス発散を行いました。梅の花見では生越梅林までドライブを行い花見帰りにはときがわ町のわたなべ豆腐で買い物を楽しまれ、思い思いにお土産を購入されました。
3月	桜の花見ドライブ 握り寿司	暖かくなり桜も咲き始め、各方面に桜の花見ドライブを行いました。いろいろな種類の桜を楽しまれ、時間のある時には散歩も行い楽しまれております。握りずしレクでは職人の握るお寿司をご自分で好きな物を注文し楽しんで頂きました。

その他月行事以外の催し物

誕生日会（誕生日者利用日）

2. デイサービスでの活動（趣味活動・作業・レクリエーション・運動）

項目	内容
作業 ぬりえ	季節の花や風景のぬりえ、難読漢字プリント、各計算プリント、なぞなぞ、クロスワード、ナンプレ、頓智、迷路、間違い探し等脳ト

漢字プリント 計算プリント 脳トレプリント	レプリントをご自分に合った物を選択して頂きました。実施後、職員が採点、評価を行う事で達成感も得られ意欲的に行って下さいました。中々進まない方には職員と一緒にいき楽しんで頂きました。
趣味活動 将棋 囲碁	趣味活動として、将棋・囲碁・オセロ等出来る方は職員と楽しみながら頭の運動を行いました。最初は参加されなかった方も段々と興味を示し最近ではお友達同士で行う事も有りました。
カラオケ	水曜日はカラオケの日とし時間の許す限り実施しました。
レクリエーション	毎日、その日の様子や介護度に合わせ楽しめるレクリエーションを提供しました。
体操	食前に嚥下体操、昼寝後に長生き音頭体操を実施しています。
個別機能訓練	午後、バンド体操、体幹、柔軟体操を全員で実施し、平行棒、階段、段差等歩行訓練を個別に実施しました。

3. 会議・委員会活動

会議・委員会名	内容
事故対策委員会	各部署での事故、ヒヤリ報告。対策の検討等。主任参加。
衛生委員会	感染症報告。感染症対策、衛生管理について。主任参加。
給食委員会	食事提供について、問題点、対策の検討。介護職参加。
不適切ケア防止委員会	各部署での不適手なケアについての報告、対策検討。主任参加。
リーダー会議	各部署、各委員会、運営等の問題点、対策について。主任参加。
通所介義	通所での問題、改善策についての話し合い、情報共有。各行事の起案、サービスの創意工夫について。通所職員参加。
ケース会議	各利用者様の状態、ケアの変更等。またリスクについても注意点等情報の共有を図り事故防止に努める。通所職員参加。
行事会議	各部署合同での行事についての話し合い。主任参加。
担当者会議	御利用者様、御家族様、CM、各サービス提供事業者が参加しケアプラについての話し合い見直し。相談員参加。
運営推進会議	地域に開かれたサービス、サービスの質を確保することを目的に年2回開催。通所の活動状況、要望、助言等の意見交換を行う。管理者が主となり、民生委員、区長、御家族、御利用者、滑川町包括、通所職員参加。

* 通所会議

通所会議では毎回、サービスの質の向上に努めるため問題点等話し合いを行い稼働率向上についても取り組みました。又業務の見直しを行いご利用者に関わる時間を出来るだけ取るように取り組みました。

* ケース会議

通所会議後に各ご利用者様の状態、変化について意見交換を行い情報の共有を図りながらより良いケアの工夫方向を話し合い実践しました。又、事故についても事前にリスクを共有する事を実践してまいりましたが、帰宅時に送迎車輛へ乗車する時に転倒し、大腿骨骨折の事故が1件発生しました。

* 運営推進会議

30年度運営推進会議はH30.10.1とH31.3.25開催いたしました。通所での問題点をあげ、参加者より助言等頂きました。

4. 施設内研修

月	内容
4月	認知症・処遇について。
6月	感染症について。
8月	身体拘束・虐待について。
10月	インフルエンザ・ノロウイルスについて。
1月	事故（誤薬・転倒等）について。
3月	褥瘡の知識・予防について。
随時	入浴事故・介護事故防止について。

5. 通所事業報告

森林園基本理念『高齢者一人一人の個性を尊重しきめ細やかな介護を目指します』（笑顔で挨拶する・尊敬の心で接する・積極的なスキンシップを図る・自立を促す役割をはたす）を掲げ職員一人ひとりがご利用者、ご家族に安心してサービスを利用して頂けるよう努めました。

重点目標に掲げた職員の知識、技術の向上につきましては通所会議を活用し、個別の事例、介助方法等を話し合いパート、正職、資格等関係なく皆が標準のケアが行えるよう対応しております。又、事故防止につきましても皆で情報を共有し日頃からリスクについて話し合いケアを検討する事で大きな事故は防げていましたが、3月に帰宅時に送迎車輛へ乗車する時に転倒し、大腿骨骨折の事故が1件発生しました。

30年4月より日曜日を休業とし、日曜日をご利用されていたご利用者へは他曜日への変更等をして頂き対応しました。又、個別機能訓練を実施、各家庭を訪問し在宅での生活の様子、必要な機能訓練等を検討しプランを作成、個別に機能訓練を行い好評いただきました。

次に利用率、実績の向上につきましては、平成28年度利用率52.86%、平成29年度60.88%となっています。平均利用者数でみると平成28年度は9.14人、平成29年度10.96人、30年度利用率73.21%、平均利用者数は13.18人と増加傾向となりました。今後も積極的に見学、体験利用を受け入れ新規ご利用者の獲得、利用率、実績の向上に努めたいと思います。今まで以上にサービスの質を向上させ通いたくなるようなデイサービスを目指し努めてまいりたいと思います。

平成 30 年度訪問介護事業報告

〈研修参加・会議報告〉

- 4 月 施設内研修参加 「認知症とは」
- 5 月 平成 30 年度 訪問介護 集団指導
- 6 月 施設内研修参加 感染症について
- 7 月 第 1 回ヘルパー会議開催
 - ・ご利用者様の状態把握
 - ・訪問時利用者様不在時の対応、緊急時の対応について
 - ・注意事項
 - ・平成 30 年度介護保険法改正について
 - ・腎臓に障がいがある場合の調理における注意
- 9 月 施設内研修参加 「高齢者虐待」
- 10 月 施設内研修参加 「インフルエンザ・ノロウイルス」
- 11 月 第 2 回ヘルパー会議開催
 - ・ご利用者様の近況と改善対策
 - ・感染症について
 - ・介護実技講習会～ベッドから車いすの移乗介助～
- 3 月 第 3 回ヘルパー会議開催
 - ・ご利用者様の近況と改善対策
 - ・感染症の対応について
 - ・施設内研修 「褥瘡予防」
- その他 サービス担当者会議・・・33回 カンファレンス会議・・・15回
アンケート実施(3月)

〈実地指導検査〉

H30. 10. 23 (火) 9:00～12:30 埼玉県福祉監査課介護保険施設・介護事業担当 2 名による指定基準及び介護報酬算定基準等の適合状況、業務管理体制確認検査が実施された。

改善報告が必要となる指導事項として、次の指摘を受け平成 30 年 12 月 3 日に改善報告書を県知事宛へ提出しました。

- 重要事項説明書及び運営規程の不備
- 職員からの秘密保持誓約書の徴収
- 相談室使用に係る指摘

ヘルプアンケート調査集計

ヘルプアンケート調査集計		回答総数		25 配布数		34 回収率		74%	
		はい		どちらともいえない		いいえ		無回答	
1	ヘルパーは、私が言い出せない事もよく気づいてくれる。	22	88%	2	8%	1	4%	0	0%
2	ヘルパーは私のしてほしいことをしてくれる。	23	92%	2	8%	0	0%	0	0%
3	ヘルパーからの言葉や態度で嫌な思いをしたことがある。	6	24%	1	4%	18	72%	0	0%
4	ヘルパーは、私の話を親身になって聞いてくれる。	21	84%	0	0%	4	16%	0	0%
5	ヘルパーは、その日やるべき仕事を、途中から「時間がなくて出来ない。」と言う事がある。	3	12%	1	4%	20	80%	1	4%
6	ヘルパーは家の物を使って、もとのところにきちんと戻さない時がある。	5	20%	3	12%	18	72%	0	0%
7	いつも同じヘルパーに来てもらいたい。	8	32%	8	32%	8	32%	0	0%
8	ヘルパーが時間に遅れたり、予定変更を連絡しない事がある。	4	16%	1	4%	20	80%	0	0%
9	ヘルパーから立ち入ったことを聞かれて、嫌な思いをしたことがある。	2	8%	0	0%	23	92%	0	0%
10	ヘルパーからほかの家の話を、聞いたことがある。	1	4%	1	4%	23	92%	0	0%
11	森林園の事業所に自分の苦情や要望を言いくい。	4	5%	1	18%	20	77%	0	0%
12	事業所は、私の家でする仕事を書いた書類（訪問介護計画書）を説明してくれた。	20	77%	0	0%	2	18%	3	5%

皆様からのご意見

- ・今まで通りで良いので今後も宜しくお願いします。
- ・いつも親切にして頂いてすごく助かっています。
- ・訪問介護ありがとうございます。ご苦労様です。
- ・森林園に対しては特にありません。
- ・非常に助かっています。頑張ってください。
- ・これからもどうぞよろしくお願いいたします。
- ・ヘルパーさんが来られると、気持ちが明るくなります。
- ・利用者（本人）が頑固と言うこと以外
ヘルパーさんに対しては大変良くしてもらっています。
生活リズムが出来ていて、爆音でテレビを見ているも
普通にコミュニケーションをとっていただき、穏やかな日々が
送れているようです。
- ・いつもありがとうございます。
- ・私の言う事を聞こうとしないこともある。

まとめ

無記名で郵送による返送にしたので、率直な意見を確認することができた。

どうしても業務優先になってしまったことによる、ご利用者からの不満の意見もあった。
訪問時は声掛けを行い、ご利用者とのコミュニケーションをとりながら、支援していくように努めたい。

結果は、ヘルパー会議内で共有し、改善すべき点は改善し感謝の意見を励みに、また業務にあたりたい。

ご利用者の状態に合わせて、臨機応変に対応し、頼られる事業所を目指していきたい。

平成30年度 居宅介護支援事業所森林園 事業報告書

1. 利用状況

介護支援専門員1名が管理者を兼務し、居宅介護支援事業所を実施している。

(1) 介護予防サービス計画作成数（事業対象者・要支援1～2）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	5	5	6	5	5	5	4
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
件数	4	4	4	6	6	59	

居宅サービス計画書（要介護1～5）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
件数	26	26	25	26	26	27	28
月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
件数	27	25	25	24	25	310	

(2) 性別、要介護度別、年齢別状況（事業対象者、要支援1～2）

		事業対象者	要支援1	要支援2	合計
60～69	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
70～79	男	0	0	1	1
	女	0	0	0	
80～89	男	1	0	0	10
	女	6	1	2	
90～99	男	0	0	0	1
	女	0	1	0	
100～	男	0	0	0	0
	女	0	0	0	
合計		7	2	3	12

※（平成30年4月～平成31年3月まで：重複者あり）

性別、要介護度別、年齢別（要介護1～5）

		要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
60～69	男	0	0	0	1	0	2
	女	0	1	0	0	0	
70～79	男	4	2	0	4	1	12
	女	1	0	0	0	0	
80～89	男	1	2	0	0	0	19
	女	6	4	2	3	1	
90～99	男	0	0	2	0	0	14
	女	4	3	3	0	2	
100～	男	0	0	0	0	0	2
	女	1	1	0	0	0	
合計		17	13	7	8	4	49

※（平成30年4月～平成31年3月まで：要介護度の変更による重複者あり）

2. 研修

月	開催場所	研修内容
6月	森林園	感染症について
8月	森林園	高齢者虐待について
10月	森林園	感染症「インフルエンザ・ノロウィルス」について
1月	滑川町役場	「自殺予防」について
2月	嵐山町役場	地域ケア会議・自立支援について
	成恵ケアセンター	外出リハビリテーションについての取り組み
3月	森林園	褥瘡について

3. 地域ケア推進会議

月	開催場所	内容
4月	滑川町役場	平成30年度 地域ケア会議開催予定 平成30年度 滑川町地域包括支援センター 事業計画 医療法人 昭友会 滑川地域福祉支援センター 開設案内
5月	滑川町役場	地域包括支援センター（ケアマネ支援） ところの相談業務 各事業所より、事例報告
6月	滑川町役場	介護保険負担割合の変更について 障害者総合支援法の改正について 「ナイドリハ」についての紹介 「地域密着型定期巡回・随時対応型訪問介護看護」勉強会
7月	滑川町役場	滑川町内における消費者被害について 住宅用火災警報器の取り付けについて
8月	滑川町役場	敬老年金支給について ヘルプマークの配布開始 特定健診の案内 滑川社協：「地域サロン事業」モデル地区について
9月	滑川町役場	ケアマネ支援の報告 彩の国 医療・福祉連携推進事業協同組合の紹介 各事業所からの報告
10月	滑川町役場	埼玉県 虐待通報ダイヤル開設案内 高齢者予防接種の案内 滑川町敬老会開催の報告
11月	滑川町役場	訪問介護の生活援助が規定回数を超える対象者の内容検討
12月	滑川町役場	介護保険による住宅改修に打ついての注意事項 運動教室の案内 重度心身障害者の医療補助について 歳末助け合い援護金につての案合
1月	滑川町役場	訪問介護の生活援助が規定回数を超える対象者の内容検討 自立支援型]地域ケア会議の開催について
2月	滑川町役場	自立支援型]地域ケア会議の開催について
3月	滑川町役場	認定調査委託依頼 「高齢者 ところの相談」事業日程について 生活サポート事業の変更について 高齢者の予防接種について

4. アンケート結果

(1) サービス内容や事務手続きなどケアマネジャーの説明はわかりやすいですか？			
①わかりやすい	(20件 : 100%)	②どちらでもない	(0件 : 0%)
③わかりにくい	(0件 : 0%)	④無回答	(0件 : 0%)
(2) 話し合いや、会議の内容について満足されていますか？			
①満足している	(19件 : 95%)	②どちらでもない	(0件 : 0%)
③不満	(0件 : 0%)	④無回答	(1件 : 5%)
(3) ケアマネジャーは個人情報の保護に努めていると思いますか？			
①感じている	(19件 : 95%)	②わからない	(1件 : 5%)
③感じない	(0件 : 0%)	④無回答	(0件 : 0%)
(4) サービス内容の変更や急な出来事が起こった時など、ケアマネジャーは気持ちよく対応していますか？			
①そう思う	(20件 : 100%)	②どちらでもない	(0件 : 0%)
③思わない	(0件 : 0%)	④無回答	(0件 : 0%)
(5) 訪問時間など、約束した事を守っていますか？			
①守っている	(19件 : 95%)	②どちらでもない	(0件 : 0%)
③守っていない	(0件 : 0%)	④無回答	(1件 : 5%)
(6) ケアプラン（サービス計画書）の内容について満足されていますか？			
①満足	(19件 : 95%)	②どちらでもない	(1件 : 5%)
③不満	(0件 : 0%)	④無回答	(20 : 0%)
(7) ケアマネジャーは困り事に対してサービスの提案やアドバイスなどしてくれますか？			
①してくれる	(18件 : 90%)	②どちらでもない	(2件 : 10%)
③してくれない	(0件 : 0%)	④無回答	(0件 : 0%)
(8) ケアマネジャーを変更したいと思った事がありますか？			
①今のまま	(18件 : 90%)	②どちらでもない	(2件 : 10%)
③変更したい	(0件 : 0%)	④無回答	(0件 : 0%)
(9) ご回答・ご記入いただいた方はどなたですか？			
①本人	(9件 : 45%)	②家族	(11件 : 55%)

配布枚数・・・30枚 回収枚数・・・20枚 回答率・・・67%

5. まとめ

①平成30年度の新規利用者・・・10件

内訳（病院から：0名 包括支援センターから：5名 本人・家族から：3名 事業・要支援から：2名）

②平成30年度の利用終了者・・・9件

内訳（自立：0名 他事業所移行：0名 入院・入所：3名 死亡：6名）

《目標に対して》

- ①アセスメントに基づく居宅サービスの計画に対しては、アンケート結果からも「満足している」の意見の割合も多く、達成は出来たものと考えられる。
- ②医療と介護の連携強化という観点からは、入院情報提供加算の取得状況からみて、連携は図れている。公正中立に支援という点では、実施地域に社会資源が少ない事に加え、申込時に当法人のサービスを希望されている場合が多く、紹介率に偏りが出てしまっているという事が現状で上げられる。
- ③介護保険制度の説明に関しては、利用開始時に十分な説明は行うものの、実際利用してみないと分からないと言った意見が多い為、継続した説明が不可欠であると考えられる。
- ④地域包括支援センターや行政機関との連携に関しては、地域ケア会議を通して、困難事例の検討や助言を得るなど、情報共有・連携という観点からは実施できていると考えられる。

在宅介護支援センター事業報告

滑川町全地域を対象とし、ご本人やご家族、地域の方々が安心して生活ができるよう多職種・他機関との報連相を密にし、連携をとりながら支援しました。又、24時間体制の窓口を持つ総合窓口としての機能を果たせるよう下記のとおり取り組みました。

1. 総合相談・家族支援事業などについて

<家族介護教室>

高齢者の介護で悩む家族や今後介護をする可能性のある家族に、介護保険の制度やサービスの利用方法、在宅介護の方法や介護食の作り方等を知っていただき、介護力を身につけられるように支援しました。また、教室に参加することで、介護に対しての不安や悩みをもつ仲間同士の交流を図り、介護家族の孤立を防止する目的としました。

対象者：高齢者の介護で悩む家族、今後高齢者の介護をする可能性のある家族

月 日	内 容	参加人数	講 師
平成 30 年 5 月 1 0 日 (木)	・介護保険の利用の仕方について ・介護保険申請の手順 ・介護サービスの種類 ・滑川町社会福祉協議会の活動内容 会場：滑川町保健センター	8 名	■地域包括支援センター 武内睦氏 ■社会福祉協議会 関本菊恵氏 ■在宅介護支援センター 小原輝子
6 月 1 3 日 (水)	・施設見学 会場：特別養護老人ホーム 森林園	10 名	■特別養護老人ホーム 森林園 相談員 小梅昌氏
7 月 1 2 日 (木)	・在宅介護の実践 会場：滑川町保健センター	6 名	■地域包括支援センター 竹内睦氏 ■在宅介護支援センター 小原輝子
9 月 1 3 日 (木)	・見て、触って！福祉用具体験 会場：コミュニティーセンター	9 名	■(株) 高橋医療機器 嶋田貴光氏 松本淳一氏
10 月 22 日 (月)	・在宅介護を続けている皆さんの為のリラックス体操 会場：滑川町保健センター	4 名	■ 橋本雅子氏
11 月 8 日 (木)	・認知症サポーター養成講座 会場：滑川町保健センター	16 名	■地域包括支援センター 武内睦氏 市川真理氏 ■キャラバンメイト 菅野健太 小原輝子
12 月 13 日 (木)	・「指圧」 会場：滑川町保健センター	7 名	■石井指圧治療院 石井勝雄氏
1 月 30 日 (水)	・「口腔ケア」 会場：滑川町保健センター	10 名	■比企歯科医師会 中浦栄美氏
合計 70 名			

<認知症サポーター養成講座>

認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知症の人やその家族に対して手助けする「認知症サポーター」を養成し、認知症高齢者等にやさしい地域づくりに取り組みました。

対象者：滑川町内在住者

実施日	場所	参加者数	講師
平成30年 11月8日（水）	滑川町保健センター	一般：16名	■地域包括支援センター 武内睦氏 市川真理氏 ■キャラバンメイト 菅野健太 小原輝子
12月12日（水）	ウエルシア薬局	一般：5名	■キャラバンメイト 市川真理氏 小原輝子
2月15日（木）	上山田集会所	一般：13名	■キャラバンメイト 市川真理氏 砂永厚子氏 菅野健太
2月23日（金）	滑川町立宮前小学校	生徒：61名	■キャラバンメイト 関本菊枝氏 市川真理氏 菅野健太
合計 95名			

サポーター養成講座では、地域住民・学校の生徒など様々な方に受講いただきました。
宮前小学校からは前年度に引き続き依頼を受け、福祉教育の一環として講座を行いました。今後も継続して行っていききたいと学校側から話があり、継続して行く予定です。

<高齢者のこころの相談>

対 象：滑川町在住、高齢者介護にあたっている家族

時 間：30～60分程度／件

頻 度：1回／月 通年

担当者：認知症サポート医 埼玉森林病院 院長 磯野浩氏

地域包括支援センター職員

在宅介護支援センター相談員

	来所相談数	訪問相談数	その他	合計
年間の合計	3件	7件	5件	15件

認知症サポート医による専門相談を個別に行いました。

今年度は家族等の身内から認知症に関する相談が多い印象でした。

2. 介護予防一般高齢者政策について

<男の料理教室>

会 場：滑川町コミュニティセンター 2F調理室

講 師：ホームニュートリションサポート 山崎良法氏

サポーター：地域包括支援センター 武内睦美氏 在宅介護支援センター 小原輝子

対象者：滑川町内在住の60歳以上の男性

毎日の食事をより楽しむために、家庭で1人になっても困らないように、料理の基本を学んでいただくという目的で行っています。昨年度に引き続き行い、今年度は3回の実施となりました。また来年度も行っていく予定です。

月 日	内 容	参加者数
平成30年 6月6日(水)	手打ちうどんと豚汁	7名
7月4日(水)	ドライカレーと組み合わせ	8名
8月1日(水)	丼物を作ってみましょう	7名
		合計 22名

<病気別 料理教室>

この教室では、持病で食事制限のある方にも食事を楽しんでいただけるように、疾患別に栄養を考えた料理について学んでいただきました。年齢層も幅広く、男女で参加されました。

会 場：滑川町コミュニティーセンター 2F 調理室

講 師：ホームニュートリションサポート 山崎良法氏

サポ-ト：地域包括支援センター 武内睦美氏

在宅介護支援センター 小原輝子 矢嶋佑香 黒岩李帆

対象者：高齢者の介護をしている家族、介護をする可能性のある方、持病を持っている方等

内 容：高血圧症、脂質異常症（高脂血症）、肥満、糖尿病など生活習慣病を予防する健康料理

月 日	参加者数
平成30年 4月17日(火)	15名
5月15日(火)	12名
6月19日(火)	15名
7月17日(火)	14名
8月21日(火)	16名
9月18日(火)	13名
10月16日(火)	14名
12月18日(火)	11名
平成31年1月15日(火)	14名
合計 124名	